

ユースワークの価値観及び目標観

基本的な価値観		ワークの目標	ユースワークは以下のことを大事なものとする	
1	個々の若者の固有性を価値あるものとしてとらえる	個々の若者の持つ力を尊重しながら、それが引き出されるようにする	1-1	若者が本来持つ力を大事にして、それが引き出されるよう働きかけていく
			1-2	先入観に囚われず、公平な視点を持って若者を受け容れ若者と関わる
2	信頼関係づくりから始める	若者との間の信頼と共感という基盤を形成する	2-1	若者と同じ時間や場、活動を共に過ごすことで作られる信頼関係から始める
			2-2	若者の求めるものや世界観を前提としながら、ワークを組み立てる
3	若者の自己決定を尊重する	若者の選択肢を増やし、自己決定の能力を培う	3-1	若者にとっての選択肢を増やし、自己決定できる機会を保障する
			3-2	若者が自らの選択や判断の前提をふりかえることが出来る機会を保障する
4	他者との関わりと、集団の中での学びのプロセスを大事なものとする	若者が社会の中で生きていく力を身につけていけるようにする	4-1	若者が他者や集団(グループ)とつながり、対人関係の中で生き方を学んでいくことを促す
			4-2	体験を通して、認知的・非認知的な能力を伸ばしていくよう促す
5	すべての若者への機会と場を保障できるようにする	すべての若者への学びと成長のための機会と場を保障する	5-1	若者が安心でき、チャレンジを許容する活動の場や機会が、平等に開かれているようにする
			5-2	多様で曖昧な若者の思いやニーズに応えることができる場を、すべての若者に対して開く
6	若者が所属するコミュニティや社会全体の正規の一員として位置づけられるようにする	若者を受け容れるコミュニティをつくる	6-1	若者が理解され、その思いが伝わりやすいコミュニティができるよう働きかける
			6-2	特に地域コミュニティにおいて、若者が意思決定に参画する機会を保障する